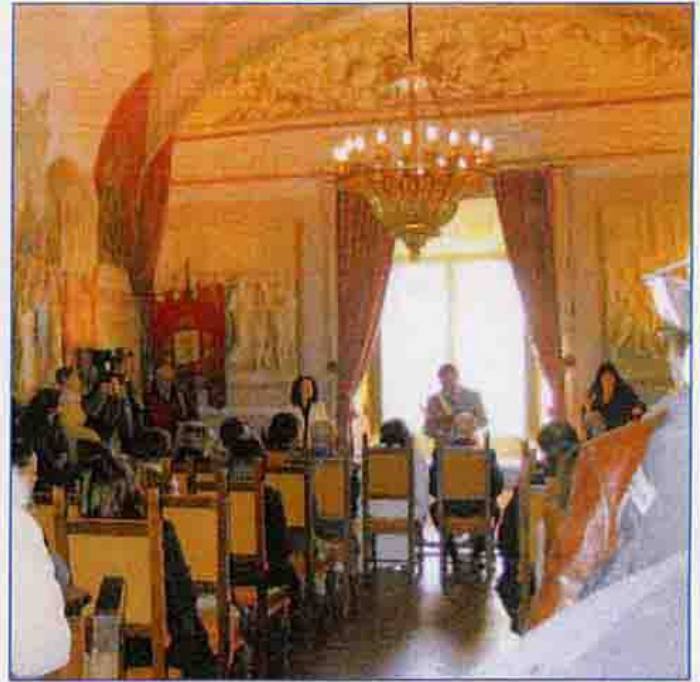


中世の壁画が残る歴史的なシティホールで  
結婚式は行われる。  
この日にも一組のカップルの結婚式が、  
ルチニャーノ市長のもとで執り行なわれた

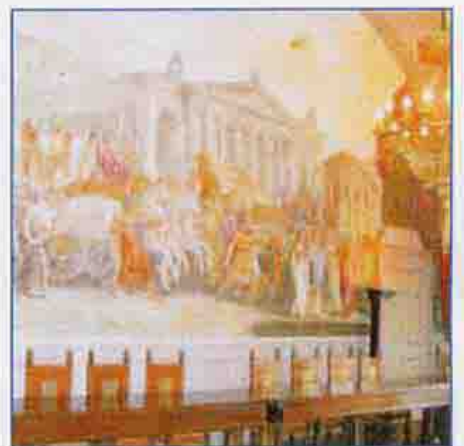


興印を終えて、  
ルチニャーノ市長と握手をする桂田美さん。  
後ろにあるのが「命の木」。  
貴金に輝く命の木は14世紀に作られ、  
今もその輝きはまばゆい



日本の「恋人の聖地」白馬や箱根彫刻の森にも  
置かれている。  
桂田美さん自筆のプレートが  
ここ「命の木」の前にも置かれる。  
恋人たちの橋がかかった

「Italia……世界中に伝わるという「恋人の聖地」  
ヨーロッパ初の恋人の聖地が  
イタリアアルチニャーノに  
プロポーズは十人十色でも、世界共通。  
結婚前の一大儀式に変わりはありません。  
イタリアの中都市ルチニャーノにも恋人の聖地ができました。  
ヨーロッパ初の恋人の聖地を紹介しましょう。」



「命の木」の前でのプロポーズは  
厳粛な気持ちになる

トスカーナ地方の南部に位置するルチニャーノは、中世の面影がそのままに残る都市です。コシモ・デ・メディチの統治下にあった16世紀は、ルチニャーノにとって大変に華やかな時代で、重要なモニュメントや建築物が造られ、今もそれらを見ることが出来ます。

そんな歴史あふれる都市に、世界で初めての「恋人の聖地」が、恋人の聖地の立案者であり、選定委員でもある桂田美さんとルチニャーノ市長の働きかけで実現しました。

聖地のシンボルは「命の木」と呼ばれる有名な黄金の木。トスカーナの金細工の代表的作品で、1350年から約100年の歳月をかけて完成。2メートル60センチの高さがあり、12本の枝と赤い珊瑚でできた6本の小さな枝を持っています。十字架が架けられ、その美しさに感動をする人も少なくありません。恋人たちがこの前で愛を誓い、プロポーズをすれば、心も厳かな気持ちになることでしょう。

ルチニャーノでは、市長立ち会いでシビルウエディングが挙げられ、式は歴史的な館で執り行なわれます。日本からのカップルも大歓迎という事です。